

とっとり Now

鳥取県総合情報誌 vol.116

2017
Winter

[巻頭特集]

密着！海上保安庁 境海上保安部＆美保航空基地

海を守り、闘う勇者たち

〔特集〕

目指せ!
『イケてる』農業
若手ファーマーたちの挑戦

美しい姿が愛される冬の使者



とつとり NOW

鳥取県総合情報誌 vol.116
2017 Winter

▶コハクチョウ◀

カモ科の水鳥で全長約120cm、翼を広げると190cmにもなる大きな鳥。湖沼や河口などをねぐらとし、広い水田地帯や湿地帯に移動して落ち穂や草の根などの餌を食べる。繁殖地はロシアの北極海沿岸で、県内では米子水鳥公園などに毎年飛来して越冬している。

参考文献*『とっとりの野鳥』(2003年5月、鳥取県発行)
写真提供*NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部 桐谷 佳介



●表紙イラスト● ASAKURA KOUHEI(朝倉弘平)

絵かき。1983年宮城県仙台市生まれ。自然との交感をテーマにした水彩画を描く。地区の秋祭りに参加した。収穫物としめ縄を奉納する。しめ縄づくりは皆が藁を木樋で叩き、手と足と尻を使う重労働。安泰を祈り文字通り神様を「祭る」のだ。



布に染めた生きる歓び 型染 寺口 敬子

たじま
海と山の風土豊かな但馬地方(兵庫県)。古民家の開放的な空間で、
染色・陶芸・絵画の設えが迎えてくれた。暮らしと工芸の一致、自
宅が『美の館』なのだ。そこで型染(※1)一筋の寺口敬子さんは「無
為な学生だった私は、母に人生の目的意識を諭されたの」と語った。

発奮して、その世界の巨匠に相次ぎ師事した。栗山吉三郎（※2）から「完璧な技術」を、芹沢鉢介（※3）からは「美の本質」を学ぶ。庭掃除をした際に芹沢は「きれいと美しさは違う」と、枯葉一枚の存在を鋭く説いた。大胆鮮明な沖縄紅型の影響は、2人の師匠譲りであろう。

寺口さんの作品は、すべて生活に密着している。「あの人にこの着物や小物を、あの店にはこんな意匠を」と、小紋や絵模様のイメージを膨らませる。なるほど着物の『秋だより』は色白の佳人に着せたいし、暖簾の『そば猪口棚^{ちょこくらべ}』はそれを潜りたくなるのだ。

染色のモットーは「安心と安らぎで、すべての感情を注ぎ込む」
だが、そのためには「なにものにも束縛されない自由が大切。民芸
にもこだわらない」ときっぱり。自然体で染め上げるのは、布に描
かれた天真爛漫な絵画。心の底から謳う、生きる歡びである。



1 型染=洋紙に模様を彫り、その型紙を使って布に防染糊を置き、刷毛で染液を塗り、糊を水洗いして模様を表す。絵画性が強く鯉のぼりや絆縄紅型が代表的。

栗山吉三郎は「京都の栗山工房」で知られる。沖縄の紅型と京友禅を融合させて、鮮やかな「和染紅型」を生み出す。

※3 芹沢銈介(1895-1984)=紅型に魅せられ、民芸雑誌「工芸」の表紙を飾る。文化功労者、重要無形文化財保持者(人間国宝)。

This image shows a traditional Japanese sliding door (fusuma) with a central illustration. The illustration depicts a wooden cabinet with three shelves. The top shelf holds six small bowls or cups, each featuring a different blue and white pattern. The middle shelf holds four larger bowls or cups, also with various patterns. The bottom shelf is completely filled with six more bowls or cups. The cabinet has a dark brown frame and stands on four legs. The background of the illustration is a light beige color, and the overall style is reminiscent of Edo-period artwork.

文／角秋勝治 写真／田中良子



1944年、鳥取市生まれ。成安女子短期大学意匠科(現:成安造形短期大学造形芸術科)卒。65年から型染作家の栗山吉三郎・68年から染色工芸家の芹沢鉢介に師事。「橡の会」を立ち上げ、「鳥取工芸の会」などのグループ展に参加、各地で個展も積極的に開く。現住所は兵庫県新温泉町。



海を守り、 闘う勇者たち



海の安全と治安を守る海上保安官。
「海の警察」と呼ばれるように、
海難事故の救助や海上犯罪の捜査など、
昼夜を問わず幅広い任務を担う。
有事には、情熱と使命感を持って
現場に向かう『海の勇者』たち。
県内にある境海上保安部と美保航空基地を訪ね、
緊迫感あふれる訓練現場に密着するとともに、
保安官の素顔に迫った。

◆キニナル workシリーズ vol.1

密着! 海上保安庁 境海上保安部 & 美保航空基地

文／松村 亜紀子 写真／山崎 登・萱野 雄一

厳しい現場、「絆」で乗り切る

第八管区海上保安本部の主な仕事

【治安の確保】

密航、密輸・密漁などのさまざまな海上犯罪やテロの未然防止、我が国の海洋権益の保全のため、徹底した監視取り締まりを行う。

【生命を救う】

海難発生時には迅速に捜索救助活動を行うほか、海難の未然防止のため海の危険性や自己救命策の必要性について周知・啓発活動を実施する。

【災害に備える】

台風・地震などの自然災害や船の衝突・乗り上げなどの海難事故・油流出の災害時に、迅速かつ適切な対応が求められるため、関係機関と連携した訓練などに取り組む。

【青い海を守る】

美しい海洋環境を守るために、油の排出や廃棄物投棄などの不法行為の監視取り締まり、海洋環境保全のための指導・啓発活動を実施する。

【海上交通の安全を守る】

船舶交通の安全確保のための海難防止思想の普及や、航海の安全のために必要な情報提供などの支援、航路標識などを整備する。

【海を識る】

航海の安全や防災のために、海底地形や地質、海水の動きなどの必要な海洋の調査を行い、これらを広く情報提供する。

【海をつなぐ】

多様化、国際化する海上保安庁の動向を踏まえ、諸外国との幅広い連携・協力関係を構築する。



救難から環境教室まで多様



「G7伊勢志摩サミット」(2016年)で厳重に警備をする保安官たち(写真提供:海上保安庁)

「海上保安庁の仕事を周知すべく、さまざまな広報活動も展開しています」と広報担当の田中啓允さん

さまである

全国で1万3千744人の海上保安官が、日本の海の安

全を守るため日々、奮闘して

いる。一般的にあまり知られていないが、その任務は想像以上に多岐にわたる。

まず、頭に浮かぶのは、海難救助での頼もしい姿だろ

う。海で事故があれば、飛行機やヘリコプター、船で現場に急行し、遭難者の救出、搬送を行う。

また島国の日本で、海は国境の最前線。領海の警備、外国船の違法操業の取り締まりや、密輸・テロへの警戒など、国際犯罪にも対応するほか、地域の漁業関係者と連携して密漁対策なども行っている。まさに「海上警察」だ。

このほか、海洋調査や海の航路標

りの管理や、海に親しむための環境教室なども開いており、人々の暮ら

しとも密接に関わっている。

一方、海上保安官の職種も幅広い。

空整備士としての勤務もあり、陸上勤務では、さらなる専門知識を学んで鑑識官や国際捜査官になる人や

巡視船などに乗り込む海上勤務だけではなく、航空基地でパイロットや航

海外勤務もある。

24時間対応の任務も多く、出動のない時は、ひたすら訓練を繰り返し続くためか、組織内のチームワークがいいのも特徴の一つだという。船が出港すると、何日間も共同生活をするため、「家族のような絆を感じる」と話す保安官が多い。

海上保安庁と海上自衛隊の違い

重要な海域の第八管区

海上保安庁は、全国を11の管区本部に分けており、鳥取県は第八管区海上保安本部(※)の管轄となる。海上の海岸線の総延長は約1960キロメートルにも及び、多くの原子力関連施設が所在するとともに、韓国や北朝鮮、ロシアと隣接する重要な海域だ。県内には境海上保安署(鳥取市)、美保空基地(境港市)の3つの拠点がある。

海上保安庁は国土交通省に所属し、法に基づいた海上警察活動によって海の治安を守る。一方、海上自衛隊は防衛省に所属し、海上からの侵略に対してわが国土を防衛とともに、周辺海域での海上交通の安全を確保する事が主な任務だ。

ただし、海上保安庁と海上自衛隊は、遭難船舶の捜索救助、防災活動、さらには不審船への対処などに関し、お互いの連携がスマートにとれるように共同訓練も行っている。

海上保安庁と海上自衛隊の違い

海上保安庁は国土交通省に所属し、法に基づいた海上警察活動によって海の治安を守る。一方、海上自衛隊は防衛省に所属し、海上からの侵略に対してわが国土を防衛とともに、周辺海域での海上交通の安全を確保する事が主な任務だ。

ただし、海上保安庁と海上自衛隊は、遭難船舶の捜索救助、防災活動、さらには不審船への対処などに関し、お互いの連携がスマートにとれるように共同訓練も行っている。

海上保安庁は国土交通省に所属し、法に基づいた海上警察活動によって海の治安を守る。一方、海上自衛隊は防衛省に所属し、海上からの侵略に対してわが国土を防衛とともに、周辺海域での海上交通の安全を確保する事が主な任務だ。

ただし、海上保安庁と海上自衛隊は、遭難



「研修での訓練が一番辛かった」と苦笑する飛工さん

ウエットスーツに空気ボンベ、足ヒレをつけた潜水士たちが、水しぶきを上げて岸壁から海に飛び込む。船の周りを泳ぎながら、はしごをよじのぼったり、ロープを渡つたりと、体力の限界に挑む潜水サーキット訓練だ。初めて目にしたその過酷さに、こちらの呼吸まで苦しくなりそうだった。

海に潜り、転覆や沈没した船から遭難者を救う潜水士。潜水士の免許そのものは国家資格で、筆記試験により取得できるが、海上保安庁の潜水士は、さらなる並外れた体力と精神力が不可欠だ。映画やTVドラマで話題となつた『海猿』そのまま

に、いかなる悪天候でも救助活動ができるよう、厳しい訓練につぐ訓練を乗り越えて、ようやく任命される。潜水士の飛工滋さんは、「人の役に立ちたい」との思いと、もともと体育会系だったことから「体力を生かせる潜水士になろう」と海上保安学校へ。卒業後、一定の現場訓練を経て、潜水士の道に挑戦することにしたが、潜水士になるには難度の高い研修のクリアが条件だ。しかも本人の意欲に加え、体力や泳力、勤務実績、周囲の推薦などの条件が揃つた上で選抜試験に臨み、そこで選考されなければ、研修にさえ参加できないという。

全身全霊で人命に向き合う

その研修では、水中で息を止めての作業や、長距離水泳など約2カ月間にわたってみっちり鍛えられ、節目節目の課題をクリアできなければ、速攻でリタイアさせられる。飛工さんは、「重りを持って15分間立ち泳ぎした時が、これまでの人生で一番苦しい経験。水から上がつても自分の足で歩けなかつた」と苦笑い。

潜水士になって6年。条件が毎回異なる救難の現場で、経験や訓練をフルに生かして任務に当たつている。東日本大震災をはじめ、多くの現場で遺族の無念さ、辛さを何度も目の当たりにした。

「助かる命はもちろんだが、亡くなつた方もなんとしてでも探し出し、遺族の元へ帰したい」との思いを胸に、真摯に仕事に向き合う。



船の側面の底につかまっての横移動。
かなりの距離に思わず「キツイ！」と吐息も



「船体サーキットコース」と名付けられた訓練。海に潜ったり、海からロープで船上に上がつた14種目を、決められた時間内にこなす

かなりの場数をこなしてきた現在でも、「いざ」に備えての体力づくりには余念がない。勤務後にも「息抜き」としてのトレーニングも。今後は、後輩たちの指導にも注力

したいという。「厳しいがやりがいは絶対にある。それを大きくするのではなく次第。人を助ける人間をもつと増やすため、現役の立場から発言していきたい」と決意を固めている。

経験生かし、後輩育成も



グラグラ揺れる綱渡りの訓練。
かなりのバランス感覚と体幹が必要だ



訓練用の人形は約80kgもあり相当の重さだが、テキバキとしたチームワークで、あっという間に吊り上げられる

息合わせ、ヘリから救助

潜水士からさらに専門性を高める隊員もいる。坂田茂伸さんは、美保航空基地に所属する機動救難士。船でのけが人や岩場に取り残された人々を、ヘリコプター（ヘリ）でつり上げて救助する専門家で、全国9カ所に9人ずつ配置されている。

父と弟も海上保安官だという坂田さんは、「人の命を助ける仕事がしたい」とこの道を選んだ。潜水士になつて4年経った頃。

「現場で人を助けたい」と機動救難士になった坂田さんへ向かった。言葉も通じない、器材も少ない、レンガ造りの家の瓦礫の山…と訓練では想定できない、何でもが厳しい条件下。「助からなかつた人も多く、その惨状を目の当たりにして、より早く救助に向かいたい」との思いが強くなつたという。

そしてヘリに乗れる機動救難士を希望した。半年間の訓練の最後に、24時間以内に100キロの道のりを走破する難関をクリア。晴れてオレンジ色の機動救難士の制服を手にした。



実際の現場では平面であることはほぼないため、あえて障害物を作つて訓練にあたるといつ



「現場で人を助けたい」と機動救難士になった坂田さん

悪条件に備えて技術磨く

活躍の場広げる 女性海上保安官



「やりがいがある毎日。充実しています」と生き生きと語る旭さん

- 全国で女性の海上保安官は865人（2017年4月現在）で全体の約6.3%。海上保安庁では積極的に女性職員の採用と登用の拡大を図っており、女性初の海上保安部長も生まれるなど、管理職やリーダーとしての活躍も目立ってきている。

恵まれた環境、さらに資格を 【整備士・旭美月さん】

美保航空基地で唯一の女性海上保安官、旭美月さんは、小学生の頃から航空機が好きで、航空整備士を目指して専門学校に進学。卒業後は民間企業への就職も考えたが、「女性に対してより門戸を開いており、仕事の幅も広く、実際に活躍している先輩も多い」と海上保安官を選んだ。海上保安学校門司分校（福岡県北九州市）で半年の研修を受け、航空機の整備員として働いている。

女性だからという理由で出来ないことは少なく、「こういう仕事がしたい」という若手の声をしっかり聞いて任

せてもらえる。恵まれている環境だと思います」と話す。

自分が整備した機体に乗り込むことができるには、海上保安官ならでは。空から要救助者を探したり、取り締まりでは写真を撮影したり、幅広い仕事を体験すると、整備作業が役に立っている実感がある。

男性と比べると体力や体格の面にハンディはあるが、「そこに、どう食らいついでいるか。勉強を続けてもっと機体に詳しくなり、資格を取って、出来ることを増やしたいです」と、新たな目標に目を輝かせる。

女性の特性が生きる場面も 【機関士・秋吉秀美さん】

秋吉秀美さんは、巡視艇「やえざくら」の機関士。小学生の時に海上保安庁の体験航海に参加し、海上保安官に憧れるようになった。「活発で、体を動かすことが好きな自分にぴったり」と、高校卒業後に海上保安学校へ進んだ。

小型の「やえざくら」は、沿岸が主な活動範囲で、船の事故や行方不明者の通報など、何かあれば真っ先に現場に駆けつける。もう一艇の巡視艇「みほぎく」と交代で、24時間体制で任務に就いており、「いつもニュースを気にしています」と秋吉さん。

海上保安業務では経験と知識が重要だ。潮の流れや風の向きから、

どこまで流されているかを推測して搜索に向かう。夕闇の迫る中、ぎりぎりで釣り船を発見し、救助できたことも。

男性との体力的な差はあるが、経験を重ねるうちに「力で対応できないなら、別の方法で出来ることがある」と気づいた。助けを求めている人は、恐い思いをしている。女性が優しく声掛けすることで、より安心感を持ってもらえた例もあったという。

これからは「もっと機械に精通したい」「取り締まりに欠かせない法律を学びたい」と意欲的な秋吉さん。「新しい事をこなすたび、自信につながっていく。勉強が苦でなければ、面白い仕事です」。



秋吉さんは「夜の海は少しは怖いんですけど、大丈夫です」と頼もしい



地上でもヘリからのサインを見ながら、バランスをとりつつ、素早く救助作業



機動救難士のほか整備士、さまざまな職種が連携し、はじめて成り立つ仕事。チームワークが命だ（写真上）

「保安官の仕事は時代とともに求められる役割も変化する。常に勉強が必要です」と広報担当の森藤拓真さん（写真右）



救助に必要な器材を背負い、空中のヘリから狙った場所にワイヤーで降りる訓練では、ヘリのパイロットやワイヤーの担当者と、息を合わせる必要がある。

ヘリの爆音で声が聞こえないため、腕を動かすハンドサインで意思を伝え合い、けが人役の隊員やダミー人形を、ハーネスや担架でつり上げる。たった一本のロープが頼り。常にゆらゆらと不安定で少しでも誰かの指示が間違えば即、事故につながりかねず、ひやひやだ。ましてや、海上での救助となれば当然、スマーズには行えない。

そのことから、船に見立てたパイプの骨組みの内部に降下したり、強風を想定してヘリを不安定にしたりと、難易度を上げて技術を磨くのだ。坂田さんは「チームワークが命の

仕事。充実感はありますが、知識面などまだまだ勉強することばかり」と日夜、努力を惜しまない。

The Japan Coast Guard photo graph



みほわし1号



おき



みほぎく



みほづる



きそ



みほわし2号



天災地変などにより大きな被害を被った外国でも救助活動を展開する(国際緊急援助活動)



火災船の消火活動を実施する巡視船



転覆した船内を捜索中の潜水士



航路標識の整備(写真上)や、海図作成のための測量作業も(写真下)



ヘリコプター内で救命措置をする機動救難士

■□ 海上保安官募集中 □■

海上保安官になるには、幹部職員を養成する海上保安大学校(広島県呉市)、または各分野の専門職員を養成する海上保安学校(京都府舞鶴市)に入学するか、船舶や航空機及び無線通信等の有資格者を対象とした採用試験などを受ける方法がある。さまざまな職種があり、興味や関心、能力に合わせた業務につくことが可能だ。意欲ある人材を求めている。

問 第八管区海上保安本部 人事課
所 京都府舞鶴市字下福井901 ☎ 0773-76-4100
WEB <http://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/>

問 境海上保安部管理課
所 境港市昭和町9-1 ☎ 0859-42-2532
WEB <http://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/sakai/>

問 第八管区海上保安本部美保航空基地管理係
所 境港市佐斐神町2064 ☎ 0859-45-1100
WEB <http://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/miho-airstation/>



故郷の夜空に散りばめられた無数の星々。
子ども心に芽生えた宇宙への夢を
たぐり寄せようとする人がいる。
自分で作れる人工衛星に宇宙葬、
衛星データの暮らしへの利活用…。
SFでもなく特別な人だけのものでもない、
私たちにも手が届く、身近な存在。
宇宙はもう、すぐそばに来ているのだ。

里山の生きものにアンテナを張り巡らせ、
日々奔走する桐原夫妻の日常をエッセーと写真で紹介。

文／桐原 真希 写真／桐原 佳介



「幸せの青い鳥」として人気が高いルリビタキ（雄）。
羽色が完全に瑠璃色になるには数年かかるという。

鳥の観察「若葉マーク」の方へ。始めるならたぶん、人も動物も活動的になる春に照準を合わせがちだろ。でも実は多くの専門家が寒い季節を推奨している。なぜなら、森では木々から葉が落ちて見通しが良くなり、水辺では冬の渡り鳥がたくさん飛来するシーズンもあるからだ。

国内で出合える鳥の数は約600種類。そのうち我が南部町には150種近くの記録があり、希少種も多く生息する貴重な場所だ。ちょっとした林縁（※）を歩けば、カサカサと枝の間を動く小さき存在に、私のセンサーがピッと反応。「ルリビだ！」といふ声に出る。ス

ズメとほぼ同サイズの青い鳥、ルリビタキだ。別の藪からは、ピンクのベニマシコが出てきた。雄だけが爽やかなブルーをまとう。その愛しさは、寒さで沈みがちな心にぱつと火を灯す。「ヒッヒッヒッ」との鳴き声に振り向けば、オレンジ色の腹が目にも鮮やかなジョウビタキ。雄が民家の柵の上に止まって縄張り宣言中だ。

冬の殺風景を彩るカラフルな鳥のオンパレードに「眼福、眼福」。所用で出かけた帰り道、しっかりと町の生き物たちを堪能できた。さて、今度は法勝寺川でカモの姿を拝もうか。冬の鳥探し、ぜひ、初トライしてみては？

※林縁＝森林の草地や裸地に接する部分。地面近くの気層の気候で細かい変化があり、林内と異なる多様な動植物がみられる場所



—K原さんちの里山Diary—



平地の低木林や藪がある草原に生活し、
太短いくしばで昆虫や植物を食べる
雑食性のベニマシコ



縄張り意識が強いジョウビタキ。主張するときに
おじぎをしながら鳴く姿が特徴的



Profile

- ▼きりはら・まき＝東京農業大学農学部卒業。1996年から自然観察指導員として活動。里山関係の体験事業を行う「もりまきフィールドネットワーク」代表。2児の母。
- ▼きりはら・けいすけ＝東京農業大学農学部卒業。1999年に転職で神奈川県から米子市に転入、2003年に南部町へ移住。現在、米子水鳥公園主任指導員。野鳥をテーマとした環境教育活動や調査研究、湿地保全活動などに従事する。

宇宙への思い、
原点は故郷の星空

「亡くなつたら星になる」は、
もはや夢物語ではない。「宇宙葬」
という言葉をご存知だろうか。故
人の遺灰を人工衛星に搭載して地
球を周回する軌道に打ち上げる。
打ち上げた衛星は数日から数年間
地球を回り、最終的に大気圏に再
び突入して流れ星となるという。
すでにアメリカで打ち上げが成
功。さらに、富裕層だけでなく、
一般に利用しやすいよう開発が進

手が届く、 宇宙事業を展開



1cm四方のカプセルのなかに遺灰を
納め、エリジウムスペースに送ると、打
ち上げ予定の人工衛星に配備される

められ、いまや30万円で実現可能
となつた。その事業を日本で展開
し、注目を集めているのが、金本
成生さんだ。

金本さんは西伯郡淀江町（現米
子市淀江町）の出身。幼い頃は山、
川、野原を相手に遊びまわった。
「すごい田舎なので日が暮れた
ら見事に真っ暗。その分、星が綺
麗に見えるんですよ。小学生の時
かな、ハレー彗星の地球接近が
話題になり、それがすごい不思議
で。それから星や宇宙が気になる
ようになりました」

以来、毎晩、星空を見上げる
日々。本当は天文学者になりたか
つたと金本さんは言う。
「でも天文学者じゃ食べていいけ
ないかなと（笑）。当時はコンピ
ューターが世の中に始めた頃
で、僕もよくいじつてました。パ
ソコン組み立てたり、家でプログ
ラミングしたり」。コンピューター
に将来性を感じ、大学は工学部
へと進学したという。



かねもと・なるお

1975年、米子市淀江町生まれ。神戸大学工学部卒業。大学在学中にweb制作などを請け負う会社を起業。その後、アメリカでITのコンテンツビジネスを立ち上げて以来、コンサルタントとして活躍。2008年に独立し、2009年に宇宙事業を手がける株式会社スペースシフトを設立。そのかたわらで2013年から「宇宙葬」を手がけるエリジウムスペースの取締役にも就任。

暮らし潤すサービス提供も

経験と出会い生かし 新ビジネスを展開

大学で情報知能工学科へ進んだ
頃はちょうどインターネットの黎明期。
「まだメールアドレスって
何？」という時代。webサイト自
体少ないし、あつても英語ばかり
だったり。じゃあ企業向けにアド
レス取得代行や、webサイト制
作をする会社を作ろうって。知人と
一緒に起業したんです」

これがシステムエンジニア、
ITコンサルタントとしてのキャ
リアのスタートだ。その後、友人
I Tコンサルタントとしてのキャ
リアのスタートだ。その後、友人

を訪ねて行ったロサンゼルスで、
インターネットコンテンツを立ち
上げるプロジェクトに参加。帰国
後も携帯電話やスマートフォン
(スマホ)の普及に伴い、顧客の
要望に応えて、コンテンツやシス
テムの開発などに深く携わってき
た。

「それでも宇宙のことは忘ら
れなくて。出張や会議でシリコン
バレー（※）に行くと宇宙事業に
関わっている人に会つたりしてま
した。そこでわかったのが、彼ら
は衛星を作れるし衛星のデータを
地上に降ろす技術はあるが、それ
をビジネスに繋げるノウハウがな
いこと。自分なら、そこをつなげ
る仕事ができるんじやないかと」

そこで2009年に民間宇宙開
発ベンチャーとしての会社、「ス
ペースシフト」を創業。漫画家の
松本零士さんやJAXA（宇宙航
空研究開発機構）の研究員を招い
ての宇宙イベント開催や宇宙グッ^ズ
の販売、自分で組み立てられる



「大切な人が空から見守ってくれている」と実感できる「宇宙葬」。
予約も続々、入っているという（写真提供：エリジウムスペース）

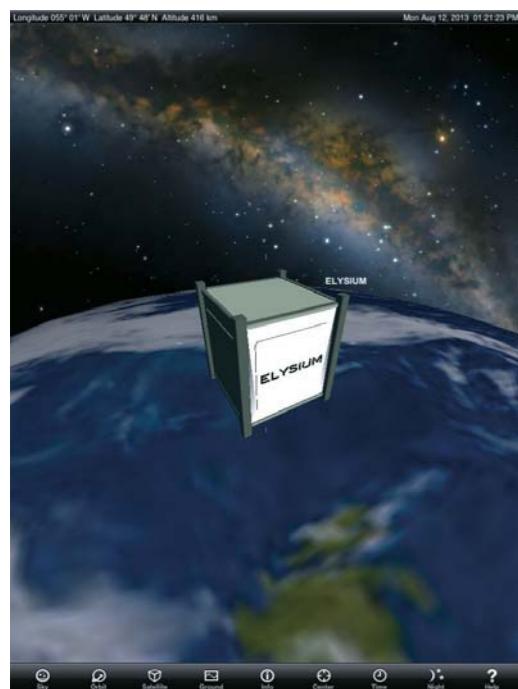
すでに生活に不可欠 さらなる情報配信を

「宇宙って、遙か彼方の縁遠い
ものだと認識が一般的にまだ多
いけど、実はすごく身近なもの。
例えばカーナビやスマホのGPS
も天気予報も、人工衛星があつて
こそ。実は私たちの生活に、もう
なくてはならないものなんですね」

※シリコンバレー＝アメリカのサンフランシスコ湾
南岸で、半導体関連企業が多数立地する地域。

淀江から始まつた金本さんの物
語は、宇宙のごとく、無限に果て
いけど、まずはこうした形で、宇
宙をパーソナルなものに感じても
らえれば」

金本さんは西伯郡淀江町（現米
子市淀江町）の出身。幼い頃は山、
川、野原を相手に遊びまわった。
「すごい田舎なので日が暮れた
ら見事に真っ暗。その分、星が綺
麗に見えるんですよ。小学生の時
かな、ハレー彗星の地球接近が
話題になり、それがすごい不思議
で。それから星や宇宙が気になる
ようになりました」



打ち上げ機から切り離された
人工衛星は、数日～数年に
わたり地球を周回する。（写
真提供：エリジウムスペース）

きらり匠人

継承の技が語る世界

日本独自の伝統を守り、技術を受け継ぐ
県内の「光る匠たち」を紹介します。

「竹を使った全く新しいデザインがあれば挑戦したい。竹が秘めている可能性をもっともっと引き出してみたい」にこやかな笑みを絶やす語る中野泰助さん(69)。伝統技法を踏ました上で、枠にとらわれない「新たな工芸」に挑もうとする姿に職人としての意地を感じる。

竹工芸職人 中野 泰助

最盛期には、30人近い職人を抱えていたという創作工房「中野竹藝」の3代目。生活様式の変化とともに竹製品の需要も減少したが、茶道具や花器、バッグなど独自の技術を生かした製品を作り続けている。特に、竹を割らずに丸いままで曲げていく「丸竹加工」を得意としており、細く割った竹を編み込んだ網代編の繊細さとの組み合わせで、竹の持つ魅力を全て引き出している。

百貨店で開催する展示会に年間20カ所近くも出品するが、自作のPRより竹の魅力の説明に熱が入ってしまうという。「竹は昔から身近な素材であり、縁起物でもあった。それが近頃では客を招き、もてなすことが減り、特別な飾りや季節感の演出を必要としない人が増えた。心の余裕も、竹の出番も無くなってしまった」と中野さん。言葉の端々に竹に対する愛情が垣間見え、それが日本人の伝統や風習が廃れていくことへの警鐘とも聞こえる。

文／稻嶋 正彦 写真／田中 良子

伝統継承と新しい発想で挑戦



見事な曲線が特徴の花器と繊細な編み込みが美しい伝統的な技法を生かした竹バッグ



3ヵ月かかって煮詰めて黒くなった竹(写真左)。世界に一つと言われる特殊技法の「丸竹加工」。竹を火にあぶったり冷やしたりしながら、じっくりじっくり曲げていく(写真下)



竹工芸は、製品づくりに取りかかるまで、相当の下準備が必要だ。伐つた竹は1~2年乾燥させた後と一緒に煮込む作業を3ヵ月間繰り返す。それを1本1本火であぶり、「のし棒」を使って真っすぐに整える。ある加減と力の入れ具合は経験から導かれたものだ。色や太さ、節の位置などを組み合わせ、職人が分担して全て手作業で仕上げていくという。

MEMO

目指せ! “イケてる、 農業



若手ファーマーたちの挑戦

昔から家ごとに田畠を持ち、農作物を育てて日々の糧としてきた日本。しかし、時代の変化は農業を「会社勤めと兼業→高齢者の役目→後継者がなく離農」という、衰退の流れへと押しやった。そんな中、新しい視点や手法を駆使して農業を展開する若い力が、続々と参入。21世紀を担うファーマーたちのチャレンジを追った。

文／鳥飼 明子 写真／山崎 登



目指せ!〝イケてる、農業

若手ファーマーたちの挑戦

畑の背後には、社名の由来となつた大タブノキと鷲峰山が、「常に見守つてくれます」と清水さん(左)と清水さん(右)



問 トウリーアンドノーフ株式会社

所 烏取市気高町飯里359

TEL 0857-35-0849

WEB <http://treeandnorf.com/>

FBN <https://www.facebook.com/treeandnorf/>



有機野菜&大規模にこだわり

打つ手がないまま、必死にイン

瞬間だった。

ターネットで情報を検索。全国各地へ出かけ有機農業を視察、先駆者のアドバイスを仰いだ。そんなときに出会つたのが「BL OF理論(Biological Farming=生態系調和型農業理論)」。経験や勘ではなく、土壤分析や植物生理学などの科学的根拠に基づいて有機農業を行う方法論だ。アミノ酸やミネラル等の化学式が飛び交う勉強会に参加して徹底的に学ぶうち、「足りなかつたものはこれだ」と感じた。進むべき道に光が差した

昨年から小松菜の試験栽培を開始、ここ風土にマッチした作物と確信し、これに絞って本格的な生産に乗りだしたところだ。「味が濃く旨みがあると、市場での評判も上々。BL OF理論を取り入れてから、農業が面白くて仕方がない」と喜ぶ。「来年は、『有機小松菜の生産面積日本一』を目指します!」。

社名の由来となつた樹齢400年の大タブノキが、そんな彼らの背中を優しく見守つている――。

『本物の味、を子どもたちへ



朝早く収穫された小松菜は袋詰めされ、午前中にはスーパーなどの売り場へ出荷される

鶴が両翼を大きく広げたようにそびえる鷲峰山の麓、黒ぼくの畑がどこまでも続く鳥取市気高町飯里地区。のどかなこの地で、農薬や化学合成肥料を使用しない有機農業に力を注いでいるのが、「トウリーアンドノーフ株式会社」だ。

圃場にお邪魔すると、白いネットの下から青々とした小松菜が顔を出した。収穫を待つばかりのその葉は、どれも生き生きとしている。「うん、すごくいいね」。出来映えを見て少年のように瞳を輝かせるのは代表取締役の徳本修一さん。農場長の清水直樹さんと笑顔でうなづき合う。

同社の目標は、「一人でも多くのお母さんと子どもたちに、安全で美

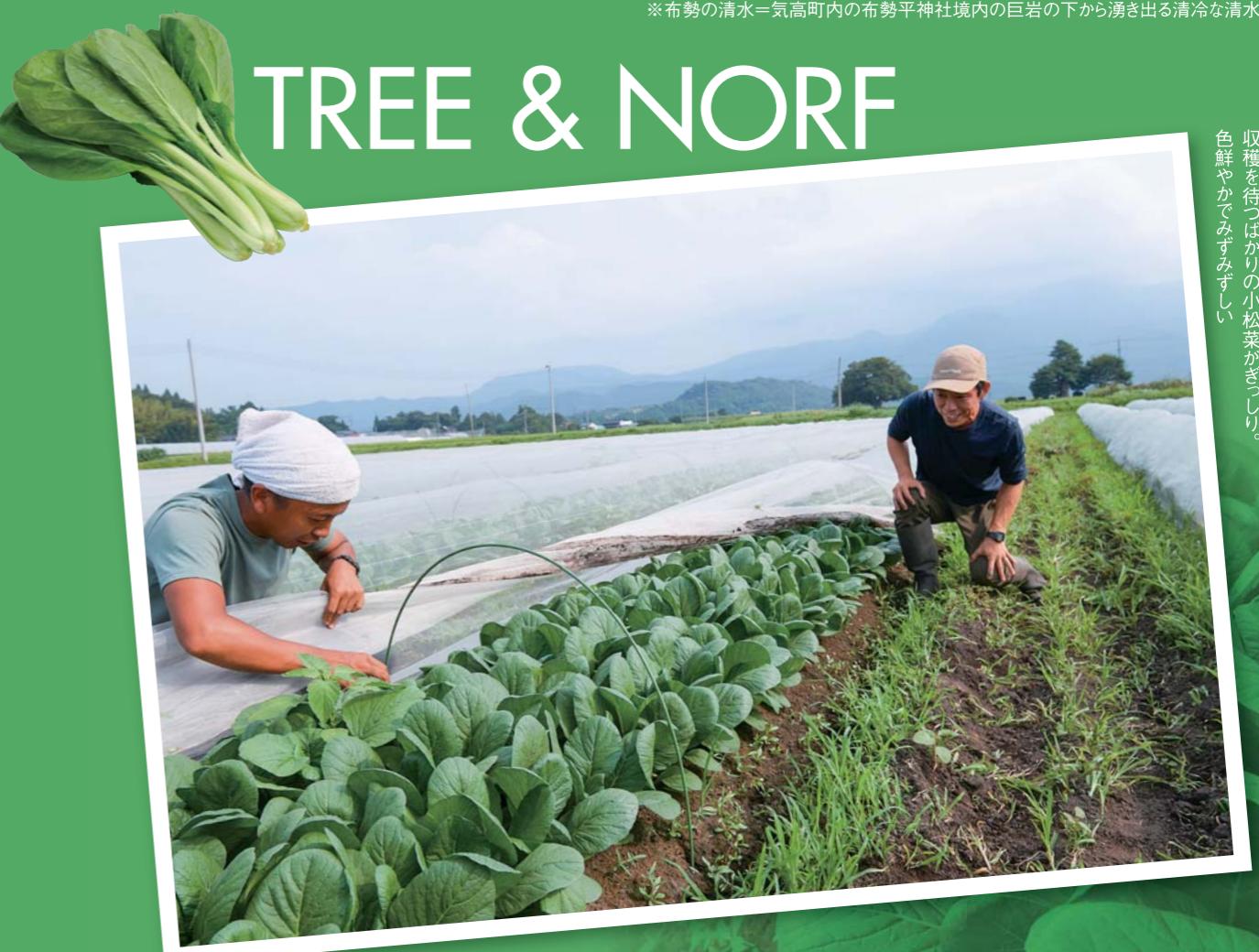
味しい野菜を届ける」こと。徳本さんが子が野菜をあまり食べたがらないとき徳本さんの脳裏に、幼い頃、祖母が作ったトマトを頬張ったときの感動がよみがえった。「子どもたちに野菜の本当の美味しさを伝えたかったことがあります。『子どもたちが野菜を本当に食べたがらない』、強い願いが故郷での就農へと向かわせた。

近くでは布勢の清水(※)が湧き、鷲峰山から吹く『鷲峰おろし』で昼夜の寒暖差が生まれるので、野菜を育てるには最高の自然環境」と徳本さん。しかし、ここまで道のりは苦労の連続だった。東京では芸能ネージャー、歌手活動を経て、IT企業に勤務という希有名な経歴を持つ徳本さんが、農業はまったくの未経験。「有機栽培」「大規模農業」を目指したが、大根、ニンジン、ジャガイモなど、さまざまな作物を手がけるも、病害虫にやられ続け、ほぼ壊滅。しかもその原因が全く分からぬ。それがいかにハードルの高いものかが、理解できていなかつたのだ。そんな状態が2、3年続いた。

虫除けのカバーをはずして成長の様子をうかがうと、収穫を待つばかりの小松菜がぎっしり。色鮮やかでみすみずしい

※布勢の清水=気高町内の布勢平神社境内の巨岩の下から湧き出る清冷な清水

TREE & NORF



目指せ!『イケてる、農業

若手ファーマーたちの挑戦

撮りの口「入りシャツで格好良く。
若い世代を取り込むイメージ戦略のひとつだ



問 農業生産法人 株式会社ディーズプランニング
所 西伯郡大山町名和621-3

□ 0859-54-3000

FB <https://www.facebook.com/Dsplanning1102/>

※1 アグリスタート研修=鳥取県農業農村担い手育成機構が職員として1年間雇用し、給料をもらいながら先進的農家のもとで農業の実践技術を習得できる研修制度

問 公益財団法人
鳥取県農業農村担い手育成機構

□ 鳥取本部 TEL.0857-26-8349

□ 米子本部 TEL.0859-31-9780

WB <http://www.t-agri.com/ninaitekiko/>

次第に同年代の仲間が集まり、15年11月には法人化。今では、東は北栄町から西は米子市まで、100カ所以上約30haの圃場で、主にブロッコリー、白ネギ、キャベツの3品目を生産しており、関西をメインにスーパーや加工会社へ出荷するまでに成長した。「最初は軽トラに載せて出荷していたけど、今は10tトラックがやってくる。ジーンときますね」と逢坂さん。その言葉は、農業の厳しさが若い彼らにも分け隔てなく降り注いだことを意味する。

「ブロッコリーは雨・風に弱く傷みやすいが、需要の高い野菜。数多く作付けし、市場が品薄になって高値が付いたときに出せると利益がぐ

んと上がる」。栽培ノウハウはもちろん、市場の流れを見極める目も養ってきた。そして、利益が出れば給与やボーナスで社員に還元する。「農業つてもうかるんだ」という魅力の発信は不可欠。若者に夢を与える使命を自負している。

目標は「全国一の農業集団」になること。「近いうちに他業種とコラボしての六次産業化（※2）も構想しています。でも、僕らの軸はあくまで野菜づくり。そこにこだわり、『農業といえばディーズプランニングだよね』と言われるようになります。大山黒ぼくの大地を踏みしめながら、自分たちのスタイルを貫く、彼らの挑戦はまだまだ続く。

イメージ変え、若者に夢を



今までにないカラフルな軽トラックも斬新で話題に

早速畠を1反借り、同級生と共にブロッコリーの生産に取り組む。2年間は兼業で試みた後、就農を支援する「アグリスタート研修」（※1）を受けて自信をつけ、農業一本に。ロゴが入った揃いのシャツを着て、カラフルな軽トラで圃場へ向かうのは、世間が農業に抱く「負」のイメージをひっくり返すためだ。

「ザイナー？」と見まがうようなイメージの青年たち。しかし彼らが立っているのは、スタイリッシュな美容室でも、冷暖房完備の快適なオフィスでもなく、見渡す限りのブロッコリー畠。つまり彼らは農業者。大山町名和地区を拠点とする農業生産法人「株式会社ディーズプランニング」の社員であり、「カッコよくて、もうかる農業」に奮闘する若者たちだ

のだ。「キツい・汚い・カッコ悪い稼げない・結婚できない」という「負けの5K」のイメージが強い農業。それなのになぜ? 代表取締役の逢坂崇さんには疑問を投げかけた。

逢坂さんが農業を始めたのは、今から7年前の2010年。当時、建設会社に勤めながら地元での起業を模索していたという。「同級生の大半が県外に出ていたから、『大山町ならではの仕事があれば地元に残るのでは?』と思つたんです。田舎の魅力を生かした仕事って何だろうと考えたとき、浮かんできたのが農業でした」。



晚夏の太陽が照りつけるなか、ブロッコリーの手入れをする社員たち



※2 六次産業化=第一次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・流通販売にも業務展開していく経営形態を指す

鳥取の
うま味

至福の時くれる
美しさと佳味

写真は「おまかせ会席」(4300円)
のうちの3品。[八寸]石川小芋の
精進揚げ・秋刀魚の味噌柚庵焼
き・菊花大根・牛蒡松風・鳴門金時
のレモン煮・無花果田楽・瓢箪玉子
の7種盛り。[椀物]松茸と鯛の
煎り出汁椀。[水物]黒蜜でいただ
く抹茶葛さり。

※内容は季節により変更あり。
※昨年に続き今年も「三段重おせ
ち」を予約販売する。



●四季彩かしも●

所在地 鳥取市弥生町215
電話番号 0857-26-2880
営業時間 18時~22時(要予約)
休日 日曜日



■■地産地消の結晶会席 ■■

鳥取市の繁華街にある静かな弥生公園、
その傍らで暖簾を掲げる『四季彩かしも』
は、季節の地物を美しい日本料理で堪能
できる心地よい店だ。店主は、樺本智史
さん、31歳。短髪が清々しい料理人は「お
いしいものを構えず、気軽に食べて欲しい。
それにつきます」と真っ直ぐに話す。

基本メニューは、7品から成る「おまか
せ会席」。その日の仕入れで献立を決め、
食材の旨味が最も際立つようにと工夫す
る。料理が一品ずつ運ばれる度、その繊
細な盛り付けにうっとり。口に運べば、
優しくて上品な佳味が、さらに至福の時
をくれる。

現在、開店して3年。「コストパフォーマ
ンスが高く、予想以上の満足感」と口コミ
で評判に。「美味しいものを提供したくて、
ついつい種類が増えてしまう」と、樺本
さんは苦笑い。また献立は全て書き記し、
同じものが続かないよう心がけていると
いう。「時にリクエストにも応じますよ」。
この律儀で柔軟な姿勢が、常連をとりこ
にしているのだろう。

ゆったり腰掛けられるカウンターと、
小上がりが3席ほどの店内は、まつりと
長居を決め込みたくなる空間。教えた
い店である。

文/矢倉みゆき 写真/佐野明美

今でも現役で活躍する洗米機



奥大山(※1)は、自然が豊かだ。大岩酒造はその天
然の水と米を得て、『秀峰 岩泉』などを造っている。
140年重ねた歴史のなかで、培われてきた技術を基本と
して継承してきた。しかし、「その上をいく酒が造れな
いか」と、5代目社長の大岩一彦さん。もっともっと、
さわやかでありながら力強い酒を。至難の業だが、少
しでも近づきたいと願う日々。「この仕事に終わりはない
んです」。飽くなき探求心は、自分の作品に常に不満
足なアーティストにも似ている。

酒蔵に風変わりな道具を見つけた。米の表面に残る
糖分を洗い流す洗米機だという。この種の道具は近年、
他ではほとんど使われなくなったが、ここでは普通酒(※
2)専用で今も現役で活躍中。なぜか、ほっとする。

数年前、地元の歴史小説と日本酒のタイアップの話
が舞い込み、小説と同名の『天の虫』大吟醸が完成。戦
乱の世を駆け抜けた少女をイメージし、仕上がりは辛
口でスッキリ。本、酒とともに好評だ。

さすがは奥大山、ふところが深い。自身が育んでき
た恵みを惜しみなく与え、食を豊かにし、文化も歴史も、
やさしく見守り受け入れる。この蔵の酒と似ている。

文/須崎俊雄 イラスト/谷繁淳子

※「良い酔いはしご酒」は今回で終了します。

良い酔い
はしご酒

酒蔵めぐり
とつとり



おおいわ
大岩酒造本店(江府町)

【情報メモ】

1877(明治10)年の創業。純米・純米吟醸・
大吟醸には、奥大山の標高800m付近の湧水
を使用。硬度20度の超軟水である。味はまろや
か。米は地元の日野郡産のみを使用。また、江
府町に500年続く祭礼「江尾十七夜」を題材に
した小説『天の虫』は、米子市在住の小説家・松
本薰さん作

※1 奥大山=中国山地の最高峰・大山の南麓から
岡山県との県境に至る中山間エリアを指す

※2 普通酒=酒税法において8種類に分類された「特定名称酒」
以外の清酒

問 有限会社大岩酒造本店
所 日野郡江府町江尾1872
電 0859-75-2404
Web <http://syuhou-iwaizumi.jp/>

【問】
公益財団法人
ふるさと鳥取県定住機構
所 鳥取市扇町7
鳥取フコク生命駅前ビル1階
0857-24-4740
http://furusato.tori-info.co.jp/

- ▼IJUターン就職に関する相談
0120-307-238
(8時30分～17時15分※土日・祝日除く)
- ▼移住に関する相談
○鳥取県移住定住サポートセンター
0120-841-558
(8時30分～17時15分※土日・祝日除く)
- とつとり移住定住ポータルサイト
http://furusato.tori-info.co.jp/iju



[PROFILE]
◎家族構成／夫・得田優さん、妻・晴美さん、長男(4歳)、長女(2歳)
◎移住前の住まい／大阪府大阪市
◎移住時期／2011年3月倉吉市小鴨→2012年10月倉吉市関金町
◎現在の仕事／幼稚スクール「自然がっこ 旅をする木」を運営



自然や人との関わりで成長できる場を提供

地域に見守られながら

最初は農業をしながらスローライフを送る計画だったが、2012年に夫婦で徳島県の自然スクール『TOEC(トエック)』を訪れたことをきっかけに、今後の田舎暮らしの方に向性が定まった。

16年4月には、関金町の標高300m地点の福原集落に『自然がっこ 旅をする木』を開設。週5日の満3歳～6歳を対象とした自然体験と暮らしが中心の幼稚スクールその他、0歳～3歳対象の自然育児サークル、幼稚～大人対象のキャンプを運営している。

「この地で一人でも多くの子どもたちに、四季の自然とふれあいながら豊かに育ってほしい」と考えた優

さん。開設の3年前から同集落の集会に顔を出すなど、念入りな下地づくりが奏功し、住人たちの理解と協力がすんなり得られたという。

学び舎の拠点兼住まいは、優さんが1人で探した築30年の2階建て住宅を、県と市の「集落活性化総合対策事業」の助成を受けてリノベー

ションした。今では得田さん夫婦の他、保育士、調理担当の4人体制で運営。倉吉市ほか大山町、北栄町、三朝町から10人の子どもたちが通う。「将来は12歳までが通える新しいカタチのがっこ」も運営したい。得田夫妻の夢は広がっている。



田んぼに囲まれたまっすぐ一本道にたつ得田さん夫妻。
家族全員、お気に入りの場所だという



◎幼稚スクール運営(倉吉市関金町)◎

得田 優さん
石川県金沢市出身

得田 晴美さん
鳥取県倉吉市出身

大山(鳥取県)の東麓と蒜山(岡山県)の北麓の間に位置する倉吉市関金町。
その中腹の福原地区は、11世帯35人の小さな集落ながら、人の手の行き届いた棚田や田んぼが遠くまで広がる。まさに「日本の原風景、ここにあり。」
この地に移住し、暮らしも仕事も自分たちで創り出した得田さん夫婦を取材した。



広々とした空間で各々が自由に好きな遊びをする子どもたち

「手つかず」が最大の魅力

移住前は、大阪市内で広告制作会社に勤務していた得田優さん。28歳で退職し、約1年をかけてアジア・中東・アフリカなど途上国を中心に行旅した経験が、その後の生き方を変えた。「訪れた国々で出会ったのは、自然の中で生きる知恵を持ち、心豊かに暮らす人や、のびのびと生きる子どもたちの笑顔でした。この先、結婚して子どもを育てるなら、都会より自然豊かな田舎が良いと感じましたね」と振り返る。

一方、その当時交際中だった晴美さんは、倉吉市小鴨地区の出身。大

阪市内のブライダル関連会社に勤めながら、「いつかはふるさとに戻りたい」という思いを抱えていた。



作業用の手押し車もあつという間に遊び道具に。バランスの取り方も手慣れたもの
(写真提供:自然がっこ 旅をする木)



県産スギと伝統の技が融合、

鳥取県は、県産スギを使って、
施工が容易で安価に耐震補強できる
「耐震補強用耐力壁」を開発した。

開発に協力したのは、伝統建築の技術を大切にする
「有限会社池田住研」（池田勝美代表取締役社長）。
時代に流されず、先人の知恵をもとに培ってきた
「匠の技」が、県産材の新たな力を引き出した。

社長の池田さんは中学卒業後に大工になり、20代初めに独立した。
1960年代以降は核家族化が進み、
住宅建設全盛期になると、プレカット工法（※1）などの登場により、業界全体で省略化が進む。それでも「手作業でしか出せない味がある」と池田さんの信念は揺るぎなく、木造建築の技術力向上に努めてきた。

金物を使わずに木材のみで組み上げる高い技術を習得、伝統構法を貫き、職人の育成にも力を注ぐ。貴重な文化財や神社仏閣などの修復ができる建築会社が数少くなるなか同社は、これまでに県指定保護文化財「鳥飼家住宅」（倉吉市関金町）や倉吉市指定有形文化財「旧牧田住宅」（倉吉市）など、数々の歴史ある建物の保存修理工事を手掛けている。

耐力壁の開発に携わったのは、約12年前。「県産スギで強い壁を作りたい」という県林業試験場研究員の大平智恵子さんの呼び掛けに応えた。



木目を生かしたデザインの耐力壁は内装として使えると好評



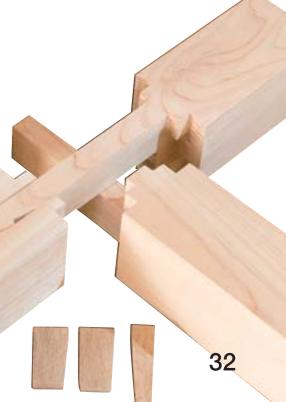
ダボは接着剤など不要で、誰もが簡単に取り付けできる

「時代が変わっても受け継いできた技術は生かしたい」と話す池田さん



有限会社 池田住研

代表／池田 勝美
設立／1973年4月
資本金／500万円
所在地／倉吉市福光642-1
電話番号／0858-28-0015
URL／http://ikeda73.com/



クギを一切使わない
伝統構法の組み方

12年前。「県産スギで強い壁を作りたい」という県林業試験場研究員の大平智恵子さんの呼び掛けに応えたのがきっかけだった。それから、板の配し方やダボ（※2）の種類など、二人三脚で試行錯誤してきた。池田さんは「ようやく今、彼女の思いを形にできた」と実感しているという。

耐力壁は、幅1間（1.82m）のスギの厚板を横向きに張り、ヒノキのダボをはめて板の横滑りを止め、地震の衝撃をやわらげる。既存の壁に板を打ち付けてダボを入れるだけで耐震補強が可能。大掛かりな工事は不要で誰もが手軽に設置でき、傾いた家でも使えるという。また木目を生かしたデザインで、部屋のインテリアにもなる。

壁倍率（※3）も2・2倍と高い数

値を示し、耐力壁を施した鳥取市や三朝町、倉吉市などの住宅では、昨年10月の鳥取県中部地震でも被害がほとんどなかったといふ。

今年4月、国土交通省の認可を得て新築にも施工できるようになり、発信される予定だ。「耐力壁」で地震に備え、命を守つて」と池田さん。

今後、鳥取県発の技術として全国に広げ、新たな耐震技術として次世代を守っていく。

文／井田裕子 写真／山内一峰

※1 プレカット工法＝住宅を構成する木材を、建築現場に持ち込む前に、あらかじめ工場で適切な形に切断・加工しておこなうこと。

※2 ダボ＝木材同士をつなぎ合わせる部分。※3 壁倍率＝壁の耐震性能を示す数値。木材のサイズや筋かいの有無によって0・5～5・0倍の幅で設定されている。

字文 の迷宮をゆく

江戸に TOKYO の風が吹く

『百日紅』（上・下）（杉浦日向子著・ちくま文庫）

七面倒な人間が生きている。作中、一両でゆきずりの男との「心中」を買った娘が呑気な顔で言う。「飯喰つて糞するのが面白倒でよう」『百日紅』を初めて読んだ頃、私は西暦2001年の東京に住んでいた。21世紀の東京と同じ、うつろに乾いた風がページの中の江戸に吹き渡っていた。それがあが痛快な驚きだった。

流れ者のるっぽの大都会。華やかな風俗と裏腹に、人はそれぞれに疲弊し「もやもや」を抱えている。江戸は東京と名を変えて、浮世は今も続いているのだ。そこには、空虚な生活と重苦しいう肉体を引きずりながら、日々の退屈をカラ元気でやり過ごす、の代表作。

杉浦の描く江戸は書き割り（※2）ではなく、『生もの』だ。そこには、空虚な生活と重苦しいう肉体を引きずりながら、日々の退屈をカラ元気でやり過ごす、



まえた・かんな
鳥取市出身。郷野堂店主。自分が通った古本屋、鳥取に作るために2012年10月に古本屋「郷野堂」を開店。古本の販売のほか、陶磁器の修理(金継ぎ)も行っている。

【郷野堂】 所在地：鳥取市吉方町2丁目311
電話番号：080-2940-2127

voice

■□ 115号の感想から ■□

若桜町の記事に感動しました。
是非一度、訪ねてみたいですね。

（兵庫県明石市 嶋田 利昌）

地名は知っていましたが、どんな所か初めて知りました。山奥の古き良き町の様子、人情味豊かな人々のものなしの紹介の記事に感動しました。

改めて認識することが出来て感動しました。

（京都府城陽市 三島 則久）

若桜町の記事に感動しました。
是非一度、訪ねてみたいですね。

（京都府城陽市 三島 則久）

小鳥のさえずりが聞こえてくるような美しい色彩の表紙に目が留まりました。カラスの仲間、カケスと言ふんですね！知りませんでした。秋を告げる彼岸花と同じく、秋の季語とは、また1つ新しい知識が増え嬉しいです。

（千葉県柏市 谷川 琴心）

何年か前に、三朝町の投入堂に

は行きましたが、若桜町にもこの内におられるとは知りませんでした。この秋にはぜひ若桜町観光に出かけてみたいですね。

（兵庫県神戸市 村瀬 勲）

なんといつても「この人」で紹介されていた雅楽奏者・舞人の森川さん！雅楽をされる方が、鳥取県

内におられるとは知りませんでした。この秋にはぜひ若

（兵庫県倉吉市 山根 和恵）

はこれから季節にピッタリですね。すぐにでも出掛けたいです。弁天まんじゅうもオイシイですよね！

（京都府京都市 服部 泰夫）

しみに拝讀しています。今回の倉吉絆では亡き母が、この絆でよく

もんべを縫つてはいていた事を思

い出し、懐かしい思いで読みました。

（京都府京都市 服部 泰夫）

吉絆では亡き母が、この絆でよく

もんべを縫つてはいていた事を思

い出し、懐かしい思いで読みました。

読者プレゼント

応募〆切
2017.
12/31
消印有効

■応募方法

貢右上のクイズの答え、ご意見、ご感想とともに希望の商品名と記号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、下記までお送りください。ハガキまたはメールで受け付けています。なお、感想が次号の「VOICE」に掲載される場合、住所、氏名が明記されることをご了承ください。当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

■プレゼント応募にはクイズへの回答が必須です。本誌を読み、貢右上のクイズにお答えください。

■応募先
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
鳥取県広報連絡協議会(鳥取県庁内)
「とっとりNOW読者プレゼント」係
メールアドレス: now@kouhoren.jp

※お預かりした個人情報は、プレゼント発送以外の目的に使用することはありません。

●116号プレゼント応募用クイズ●

Q

海上保安庁の航空基地に所属し、海難事故の際、空から救助活動を行う保安官の職名は? 空欄の4文字でご記入ください。

				士
--	--	--	--	---

115号のクイズの答えは

「不動院岩屋堂」

「巻頭特集」の記事中に正解あり。

C



わさびオイル (55g)

米油に関金町産のワサビを漬け込んだ調味料。料理に数滴加えるだけで、ワサビ特有の香りと辛味が味わえる。肉や魚介料理のアクセントに。

問 株式会社西河商店
☎ 0858-33-4217

A



【3名】

大吟醸 天の虫 ~十七夜物語~ (720ml)

江府町が舞台の小説『天の虫』をイメージして造った大吟醸酒。同町産酒米の山田錦を使用。フルーティな香りと、辛口でキレのある味わいが特徴。

問 有限会社大岩酒造本店

☎ 0859-75-2404

B



かきこみけいき
柿込景氣

【3名】

八頭町産の西条柿をピューレにして生地に練り込んだロールケーキ。柿の風味が口いっぱいに広がる。景気回復に期待を込めたユニークな商品名。

問 一般社団法人 物産観光やす

☎ 0858-72-3257

D



写真集「山陰絶景」

山陰の絶景をさまざまな視点でとらえた写真集。四季折々の表情豊かな91点が誌面を彩る。ドローンで撮影したダイナミックな眺望は圧巻。

問 今井印刷株式会社
☎ 0859-28-5111

E



【3名】

ブルーベリーワイン紫泉郷 (720ml)

県産ブルーベリーを100%使用したフルーツワイン。渋み、コク、香りが楽しめるミディアムボディ(赤)で肉料理やチーズによく合う。アルコール12度。

問 株式会社アグリネット琴浦
☎ 0858-55-0212

F



【3名】

2018年版鳥取県民手帳 (145mm×85mm)

県の統計情報や酒蔵マップ、災害時の心得など豆知識を盛り込んだ手帳。梨グリーン、とっとりピンク、砂丘ブラウンの3色のうちいずれかをプレゼント。

問 今井印刷株式会社
☎ 0859-28-5111

G



砂丘長いも焼酎 (720ml)

【3名】

県特産品の砂丘長芋が原料の焼酎。ほんのり甘く、長芋の風味を生かした深みある味わい。常圧蒸留無濾過、アルコール25度。

問 梅津酒造有限会社
☎ 0858-37-2008

H



日南町スイーツセット (板チョコ60g、バウムクーヘン直径14cm×高さ4cm)

町内産のリンゴジャムを使ったホワイトチョコ「チョコッコあびれ」と、自然薯入りでもっちり、甘さ控えめのバウムクーヘン「イチイの木」のセット。

問 日南町役場企画課
☎ 0859-82-1115

Editor's note

□■編集後記■□

海上保安庁と言えば「海猿」が浮かぶ人が圧倒的だろう。かく言う私もそのひとり。「あの格好いい勇姿、見てみたい!」との単純な好奇心から今回、企画した。自分がワクワクするものは、きっと読者も見たいに違いないと(笑)。▼とはいって、全く未知の

分野。企画の元となる基礎知識がまるでない。とりあえず、インターネット頼りで検索。▼そして気づく。ん? 海上自衛隊と何が違うんだっけ? …え? あれもこれも海保の仕事? 調べれば調べるほど奥深い。「へえへえ、そうなんだあ」の連続だった。▼当日、訓練の様子を見学し、ビリッとした現場の緊迫感にドキドキ。続いてその過酷さに胸がギュッと締め付けられる。「なぜ、そこまでする?」と聞けば、答えはシンプル。「人の役に立ちたいから」と。今度は胸が熱くなる。もうアドレナリンが出まくりだ。▼取材後、きっかけが「好奇心」だった自分をちょっと恥じる。が、めげてる場合じゃない。これを伝えることが、私の使命なのだ! 精鋭たちの熱意が誌面で一端でも伝われば幸いです。

【Hi】

とっとり
NOW
鳥取県総合情報誌 vol.116
Winter

《企画・編集・発行》鳥取県広報連絡協議会
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220(鳥取県庁内)
《制作》株式会社ジェイ・エス・エス
〒680-1131 鳥取市馬場233-1 TEL.0857-37-4120

0857-26-7086
0857-29-6621

とっとりNOW

検索

<http://www.kouhoren.jp/>
2017年12月1日発行 定価309円